会社概要

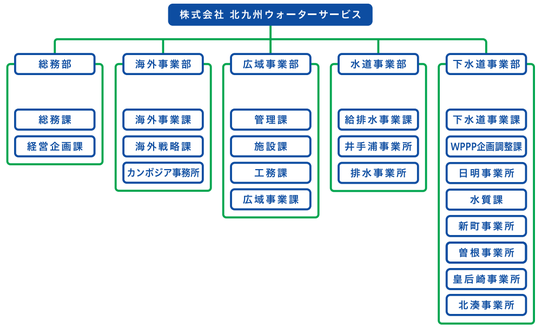
社　　名	株式会社 北九州ウォーターサービス
設　　立	2015年12月
代 表 者	代表取締役社長　兼尾 明利
資 本 金	1億円
事業内容	1. 上下水道施設及びそれらに関連する施設の運営及び維持管理 2. 上下水道施設及びそれらに関連する施設、設備、機器材等の工事に関する監理、審査並びに検査 3. 上下水道水質の調査及び分析 4. 上下水道に関する調査、分析、研究開発及びコンサルティング 5. 国際技術協力事業及び海外水ビジネス事業 6. 不動産の管理、運営 7. 前各号に関連又は付帯する一切の業務

株　　主

	（出資比率）
北九州市	54%
安川オートメーション・ドライブ株式会社	19%
メタウォーター株式会社	19%
株式会社 みずほ銀行	2%
株式会社 福岡銀行	2%
株式会社 西日本シティ銀行	2%
株式会社 北九州銀行	2%

所 在 地　〒802-0001 北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号 AIMビル4階

組織図



令和8年4月1日現在

KWS
Kitakyushu Water Service

株式会社 北九州ウォーターサービス
〒802-0001
北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号 AIMビル4階
Tel 093-533-4343　Fax 093-533-5354
http://www.kitakyuws.co.jp

KWS
Kitakyushu Water Service

株式会社 北九州ウォーターサービス

豊かな水環境の創造と持続を、北九州から国内、そして世界へ

企業理念

北九州市と国内外の上下水道事業体の発展と豊かな水環境の創造を支援する、新たな担い手となる。

株式会社北九州ウォーターサービスは、100年以上の上下水道の歴史を持つ北九州市と民間企業の共同出資による「公民共同企業体」として2015年（平成27年）に設立され、設立10周年の節目を迎えることができました。

行政の信頼性と民間企業の優れた経営ノウハウを有する企業として、24時間365日、浄水場や浄化センターの安心・安全かつ確実な運営管理を通じて、人々のいのちと暮らしを支える最も重要な社会インフラである『上下水道』の持続的な運営に日々取り組んでいます。

現在、国内の上下水道事業では、人口減少や施設の老朽化、激甚化する自然災害、深刻な技術者不足など、将来の持続性を左右する新たな課題に直面しており、これらの課題に正面から向き合い、柔軟かつ迅速に対応していくことが求められています。

このような転換期において、2025年度より、北九州市の施策の一翼を担うパートナー「政策連携団体」として新たにスタートし、より官民連携の中核的な役割を担っていくことになりました。

上下水道事業における経営基盤強化の支援や、高い技術とノウハウの継承に努め、さらに、市内で培った知見を活かして福岡県北部の事業体を広域的に支援してまいります。

また、海外では「プノンペンの奇跡」に代表されるように、北九州市が長年築き上げてきた国際技術協力の実績をベースに海外水ビジネスの推進を支援し、世界的な水問題の解決にも挑んでまいります。

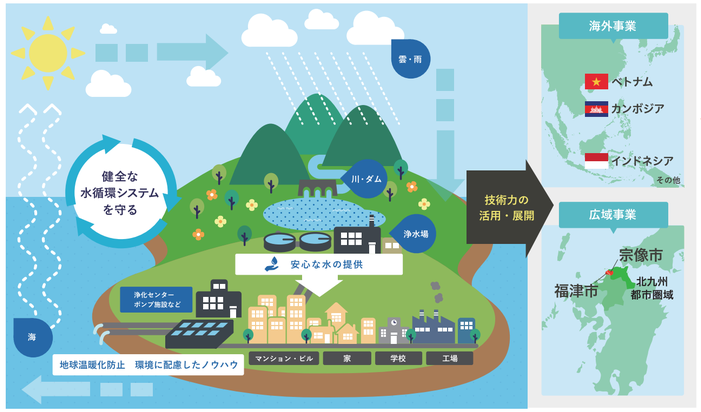
私たちはこれからも、国内外の上下水道を通じて、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、全社一丸となって次なるステージへと突き進んでまいります。

代表取締役社長
兼尾 明利

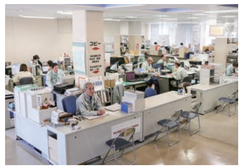
北九州ウォーターサービスの事業領域

事業計画

北九州市の上下水道事業を支える「市内事業」、近隣事業体の上下水道事業を支援する「広域事業」、北九州市の海外水ビジネスを支援する「海外事業」の3つを事業領域として上下水道事業の持続と発展を支援します。



市内事業



北九州市内における浄水場の運転や浄化センターの中央操作等を行い、上下水道ライフラインの維持管理を担います。

さらに、人材育成・技術継承に取り組むことで、維持管理時代に向けた上下水道技術の向上に努めます。

海外事業

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の事務局業務を担うとともに、市の第三セクターとして発足した弊社は、これまで北九州市上下水道局が実施してきた海外技術協力の実績をベースに、海外水ビジネス案件に積極的に取り組みます。

上下水道施設の安定稼働、持続性確保、インフラ整備、運転・維持・管理、技術指導・人材育成など様々な角度から貢献します。

広域事業

北九州市内で蓄積した技術力と、株式会社としての柔軟性・迅速性を活かし、北九州市近隣の上下水道事業体の運営を支援します。

また、運営業務を標準化・汎用化し、「技術継承基盤」となるべく、多様なニーズに柔軟に対応します。